

令和5年度定期総会

日時 令和5年5月13日(土)10:30~12:00

会場 上川教育研修センター

オンライン(zoom)

- 1 開会の言葉
- 2 会長あいさつ
- 3 議長選出
- 4 報告事項
 - (1) 令和4年度事業報告
 - ①事務局
 - ②研究部
 - ③情報広報部
 - ④事業部
 - (2) 令和4年度会計決算報告
 - (3) 監査報告
- 5 質疑応答
- 6 議事
 - (1) 令和4年度報告事項の承認に関する件
 - (2) 令和5年度事務局活動計画に関する件
 - (3) 令和5年度各部活動計画に関する件
 - (4) 令和5年度会計予算案に関する件
 - (5) その他
- 7 連絡
- 8 役員改選
- 9 新旧役員あいさつ
- 10 議長解任
- 11 閉会の言葉

令和4年度 事業報告 ①事務局

6月 地区総会
8月 夏季研修会
10月 管内公開研究大会（上川管内教育研究会各地区研究大会）
2月 冬季研修会
全道連盟の会議および大会に出席し、連携した。

令和4年度 事業報告 ③情報広報部

1. 情報部

（1）上川地区 HP の運営について

→地区総会後、会長挨拶・新年度役員一覧を更新。

総会、地区研究大会、夏期研修会、冬期研修会について発信を行った。

（2）道連盟 HP「北の大地・発」との連携

→道連盟情報部と連絡を取ったが、連絡待ちが続いており寄稿を実施できていない。今後も、連携を取っていく。

2. 広報部

（1）会員募集について

→上川地区 HP において、会員募集を行った。

（2）情報発信について

→上川地区 HP において、総会、地区研究大会、夏期研修会、冬期研修会についての案内、研修の参加募集、事後報告を行った。

令和4年度 事業報告 ④事業部

感染拡大防止の観点により実施を見送った。

令和4年度 事業報告 ②研究部

1 オンラインミニ研修会の実施

- (1) 上教研北部地区大会「総合的な学習の時間」研究授業の指導案検討の実施

【令和4年8月28日(日)、オンライン開催、9:00~11:00、参加者8名】

- (2) 全道大会課題別分科会リハーサルの実施

【令和5年1月9日(月)、オンライン開催、9:00~10:30、参加者10名】

事務局の協力により、ZOOMを使ったミニ研修を実施することができました。和寒小杉立先生の実践から総合的な学習の時間の授業づくりについて理解を深めると共に、会員相互のつながりを維持発展させることができましたと思います。

2 夏季研修会の実施

【令和4年9月4日(土)、オンライン開催、9:00~11:30、参加者10名】

- (1) 説明「生活・総合の授業づくり」 説明: 名寄南小 林琢磨

- (2) 発表・質疑「総合の実践発表」発表者: 東川第三小 石崎元気

石崎先生は、①ポスター作りやパンフレット作り等の言語活動(国語)と総合の学習を関連させた単元構成、②地元企業と連携した体験活動の充実等について提案してくださいました。

総合の学習活動と国語の言語活動は親和性が高いこと(研究内容1「カリキュラムマネジメント」)、体験活動が適切に位置付くことで児童の認識・思考が深まったり、意欲が高まったりすること(研究内容2「資質・能力を高める学びのプロセス」)が明らかになりました。

3 第30回 全道夏季研修会(渡島地区主管、オンライン開催)への参加、運営協力

【令和4年7月30日(土)、9:30~15:10、参加者3名】

- (1) 各研修会・講演会への参加、運営協力 講師: 齋藤 博伸 氏(文部科学省 教科調査官)

4 第31回 北海道生活科・総合的な学習教育研究大会「オホーツク・北見大会」への参加

- (1) 全道指導案検討会への参加

【令和4年8月21日(日)、オンライン開催、13:45~14:30、参加者4名】

- (2) 各公開授業・授業分科会・講演会への参加 講師: 齋藤 博伸 氏(文部科学省 教科調査官)

【令和4年11月4日(金)、ハイブリッド開催(北見市立南小学校)、参加者7名】

5 第31回 北海道生活科・総合的な学習教育研究大会「オホーツク・北見大会」課題別分科会への参加、提言

【令和5年1月11日(水)、オンライン開催、参加者7名】

- (1) 課題別分科会 分科会Ⅱ 提言者 上川: 和寒町立和寒小 杉立耕平

「児童が自分事として課題を設定することへ向けた指導と評価の一体化の在り方」

6 冬季研修会の実施

【令和5年2月18日(土)、オンライン開催、9:00~11:00、参加者13名】

- (1) 「総合の実践発表、協議・交流」 発表者: 和寒町立和寒小 杉立耕平

- (2) 交流「生活・総合Q&A」

杉立先生は、①児童の問いを更新したり、次の活動につなげたりする学習指導の在り方、②話し合いの場面の充実について提案してくださいました。

「活動の条件を考えること」「活動の意味を問い続けること」「知識を体験とつなぐこと」「理想と現実のずれを感じさせること」等の指導が有効であること(研究内容2「育ちを実現する適切な指導」)、課題とその解決に適切な方法(思考ツール)が児童に理解されていることで話し合いが活発になること(研究内容4「考えるための技法の活用」)が明らかになりました。

令和4年度 会計決算報告 監査報告

令和4年度 上川生活科・総合的な学習研究会 決算

■ 収 入 の 部

(単位円)

科 目	令和4年度予算額	令和4年度決算額	比較(▲減)	摘 要
会 費	0	0	0	令和4年度の会費徴収はなし
繰 越 金	322,295	322,295	0	
雑 収 入	2	2	0	貯金利子2円(10/1, 4/1に各1円)
		10,000	10,000	助成金 (1/26北海道エネルギー環境教育研究委員会)
合 計	322,297	332,297	10,000	

■ 支 出 の 部

科 目	令和4年度予算額	令和4年度決算額	比較(▲減)	摘 要
事務局費	15,000	0	15,000	
会 議 費	5,000	0	5,000	5/21総会はZoom基本プラン(無料)で実施
研 修 費	50,000	14,620	35,380	日生総教育学会ブックレット10,000円(20冊@500円) 振込手数料 220円 9/4夏季研修会・2/18冬季研修会はZoomプロ月 毎プラン(2回@2,200円)で実施
負 担 金	30,000	18,220	11,780	道生総連加盟金 8,000円 振込手数料 220円 日生総教育学会会費 10,000円(2名@5,000円)
雑 費	5,000	0	5,000	
予備費	217,297	0	217,297	
合 計	322,297	32,840	289,457	

(収入)

(支出)

(残高)

332,297

—

32,840

=

299,457

令和4年度の会務及び会計について監査を行い、会計簿・通帳等の諸帳簿が適正に執行されていたことを報告します。

令和5年

5月

10日

監査 小林 真

監査 本 松 宏



令和5年度 活動計画（案） ①事務局

1 活動計画（令和5年度）

- | | |
|-----|----------------------------|
| 5月 | 地区総会 |
| 5月 | 会員募集配布（総会後～情報広報部） |
| 7月 | 全道夏季研修会参加 |
| 8月 | 夏季研修会予定 |
| 9月 | 次年度全道夏季研修会実行委員会立ち上げ |
| 10月 | 管内公開研究大会（上川管内教育研究会各地区研究大会） |
| 2月 | 冬季研修会予定 |

この他、① 道連盟との連携、会員への文書配付

② 研究部の管内大会実施時の共催・会場依頼事務

③ 事務局・部長会議の定期開催

2 関連団体の今後の予定

■全道夏季研修会

後志・札幌地区主管 7月29日（土） 参会・オンライン実施

■全道大会札幌大会

円山小学校にて 10月6日（金）開催 11：00～16：30

ホテルライフオー札幌 10月7日（土） 8：30～12：10

■協議会全国大会京都大会

11月9日（木）～10日（金）開催

■学会全国大会神奈川大会

6月17日（土）～18日（日）

自由研究発表：オホーツク北見地区

3 オンライン会議システムの有料契約について

目的 会員の負担を少なくしつつ、効率的な研究推進と資質向上を目指す。

具体的な契約 割安な月単位の契約が可能であるため、予め時期を見定めその期間にじっくり研修したり打合せをしたりできる機会を設ける。必要に応じて年間契約も視野に入りたい。

運用の具体 会員研修については広く上川管内の学校に参加を呼びかけ、本会の学び合い高め合うよさを感じていただき、会員拡大も期待する。

令和5年度 活動計画（案） ②研究部

1 令和5年度の研究について

研究主題 自ら学びの世界を拓げよりよい自分を創る子ども
～思いや願いを生かした学びを通して～

「上川地区は〇〇だ」と
端的で明解な研究内容へ

研究内容1 思いや願いの醸成・持続・高まり・更新を促す単元構想・環境構成

- (1) 真に価値ある思い・願いをもつための単元の導入
- (2) 目的意識や課題意識を明確にした学びのプロセスの充実

研究内容2 学びの実感を促す学習活動

- (1) 対象や自分自身への気づきを統合する話し合い活動の充実
- (2) 学びの蓄積・可視化による、自己変容への気づき・実感を促す手立ての工夫

2 令和5年度の具体的な取組

管内生活科・総合の質の向上に資する研究団体へ
・仲間を増やす研修会 ・実践集を作成、配布

(1) 上川地区の研究推進、研修活動

- ①定例学習会の実施（6月、7月、9月、11月、12月、2月にテーマ学習）※オンライン
- ②夏季研修会の実施（夏季休業中：8月希望）
- ③理論に基づく実践（授業者の調整ができれば、地区研究大会の実施）
- ④冬季研修会の実施（冬期休業中：1月希望）

(2) 全道との関わり

- ①全道夏季研修会（後志・札幌地区主管）【7月29日（土）】
- ②全道研究大会（札幌地区主管）【10月6日（金）～7日（土）】
- ③全道冬季研修会（札幌地区主管）【1月予定】

	研究		研修		その他
6月	地区理論構想・共有	理論に基づく実践	夏季研計画、テーマ学習①	実践を支える学び	全国学会（神奈川）
7月	全道提言①、地区実践交流		夏季研準備、テーマ学習②		
8月	全道夏季研、地区夏季研				
9月	全道提言②、地区実践交流		テーマ学習③		
10月	全道研究大会（札幌）				
11月	地区実践交流、全道還元		冬季研計画、テーマ学習④		全国協議会（京都）
12月	地区実践交流		冬季研準備、テーマ学習⑤		
1月	全道冬季研、地区冬季研				
2月	地区理論再構築		テーマ学習⑥		

(3) 令和6年度全道夏季研修会（上川地区主管）に向けた動き

- ①「上川の生活総合展（仮称）」の企画、実践の蓄積
- ②「上川の生活総合実践事例集（仮称）」の企画、実践の蓄積
- ③講演講師打診、他地区連携・発表の調整など
- ④他地区、他団体、関係機関（大学等）との連携研修

1. 情報部

（1）上川地区 HP の運営

→地区総会后、会長挨拶・新年度役員一覧の更新を行う。

総会、地区研究大会、夏期研修会、冬期研修会について発信を行う。

（2）道連盟 HP「北の大地・発」との連携

→令和4年度途中から更新が再開された様子。道連盟情報部と連携し、寄稿を行う予定。情報広報部員の輪番で寄稿を行う。道連盟情報部に確認後、情報広報部長より、部員の先生に原稿依頼を行う。

2. 広報部

（1）会員募集について

→上川地区 HP において、会員募集を行う。

（2）情報発信について

→上川地区 HP において、総会、地区研究大会、夏期研修会、冬期研修会についての案内、研修の参加募集、事後報告を行う。

道連盟 HP への寄稿に合わせて、各校の実践について掲載する。

感染状況に注視しつつ会員の一層の連携を図るため適宜実施する。

令和5年度 会計予算（案）

令和5年度 上川生活科・総合的な学習教育研究会 予算（案） 令和5年5月

■ 収 入 の 部

（単位円）

科 目	4年度決算額	5年度予算額	比較(▲減)	摘 要
会 費	0	0	0	※本年度の会費は徴収しない
繰 越 金	299,455	169,455	▲ 130,000	
雑 収 入	2	2	0	貯金利子
合 計	299,457	169,457	▲ 130,000	

■ 支 出 の 部

科 目	4年度決算額	5年度予算額	比較(▲減)	摘 要
事務局費	0	35,000	35,000	※Zoomプロプラン（月毎もしくは年間契約） 郵券，他
会 議 費	0	10,000	10,000	総会，役員会，研修会等の会場使用料
研 修 費	14,620	50,000	35,380	研究集録費，研究推進費 ※全道大会，全道宿泊研究大会の開催方法に よって，参加費の補助
負 担 金	18,220	30,000	11,780	道生総連加盟金 12,000円 送金手数料 220円 日生総教育学会会費 10,000円(2名@5,000円)
雑 費	0	5,000	5,000	
予 備 費	0	169,457	169,457	
合 計	32,840	299,457	266,617	

上川地区生活科・総合的な学習教育研究会規約

- 第1条 この研究会は、上川地区生活科・総合的な学習教育研究会と称する。
- 第2条 この研究会は、上川管内における生活科・総合的な学習教育の向上を目的とする。
- 第3条 この研究会は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。
- (1) 講演会・講習会・研究会の開催
 - (2) 教科用図書及び参考書の研究
 - (3) 広報誌・研究集録の発行
 - (4) 生活科・総合的な学習教育に関する調査研究
 - (5) その他必要な事業
- 第4条 この研究会は、北海道生活科・総合的な学習教育連盟に加盟する。
- 第5条 この研究会は、上川管内（旭川市を除く）の教職員によって組織する。
- 第6条 会員は、総会で決定した会費を負担する。
- 第7条 この研究会には、次の役員を置き、任期は1年とする。
- (1) 会長（1名） 本研究会を代表する。
 - (2) 副会長（若干名） 会長を補佐する。
 - (3) 監査（若干名） 会計を監査する。
- 第8条 この研究会は、事務局を置き、次の事務局員を会長が委嘱する。
- (1) 事務局長（1名）、事務局次長（若干名）、局員（若干名）
 - (2) 研究部長（1名）、生活部長（1名）、生活副部長（1名）、部員（若干名）
総合部長（1名）、総合副部長（1名）、部員（若干名）
 - (3) 事業部長（1名）、事業副部長（若干名）、部員（若干名）
 - (4) 情報広報部長（1名）、情報広報副部長（若干名）、部員（若干名）
 - (5) 会計（1名）
 - (6) その他必要に応じて事務局員を置くことができる。
- 第9条 この研究会は、総会の承認を得て、顧問を置くことができる。
- 第10条 総会は、年1回会長が招集し、次の事項を審議し決定する。ただし、必要に応じて臨時に開くことができる。
- (1) 事業及び決算の報告
 - (2) 事業の計画
 - (3) 予算の審議
 - (4) 役員の改選
 - (5) その他必要な事項
- 第11条 役員会は、役員及び事務局員で構成し、必要に応じて会長が招集し、事務の運営及び総会で委任された事項について協議する。
- 第12条 この研究会の経費は、会費及び補助金・寄付金による。
- 第13条 この研究会の事業及び会計年度は、毎年、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。
- 第14条 この研究会の設立年月日は、平成6年5月21日とする。
- 第15条 この研究会の所在地（事務局）を事務局長の勤務校内に置く。

付 則

- 1 この規約は、平成18年5月13日から施行する。
(平成6年5月21日 制 定)
(平成9年5月17日 一部改正)
(平成10年4月25日 一部改正)
(平成12年5月20日 一部改正)
(平成18年5月13日 一部改正)
(平成22年5月7日 一部改正)
(平成28年5月14日 一部改正 設立年月日、所在地の記載)
- 2 規約施行上、必要な事項については、別に定める規則による。
- 3 この規約は、総会の決議によらなければ改廃できない。

上川地区生活科・総合的な学習教育研究会沿革

1994（平成6）年 上川地区生活科教育研究連盟として設立

2002（平成12）年 上川地区生活科・総合的な学習教育研究会と名称を変更

歴代会長

初代	藤岡正隆	平成6～7年度
2代	田代泰稔	平成8～9年度
3代	宮崎元	平成10～12年度
4代	米田稔	平成13～15年度
5代	伊東秀美	平成16～17年度
6代	松谷龍之介	平成18～19年度
7代	中島壽行	平成20～21年度
8代	長谷川一郎	平成22～24年度
9代	若林弘士	平成25年度
10代	近藤初美	平成26年度
11代	大久保善邦	平成27年度
12代	南部和紀	平成28～29年度
13代	山崎省三	平成30年度～令和2年度
14代	豊田央	令和3年度～4年度